平成24年5月18日

工事事故（速報）の情報提供について

工事の安全管理には、日頃から万全を期していただいているところでありますが、この度、残念ながら別紙に示す工事事故が発生しました。
各事務（管理）所の工事現場において、このような工事事故が再び発生することのないように工事事故概要を皆様にお知らせいたします。
本資料を活用し、受注者を適切にご指導頂き、再発防止に努めて頂きますようお願いいたします。

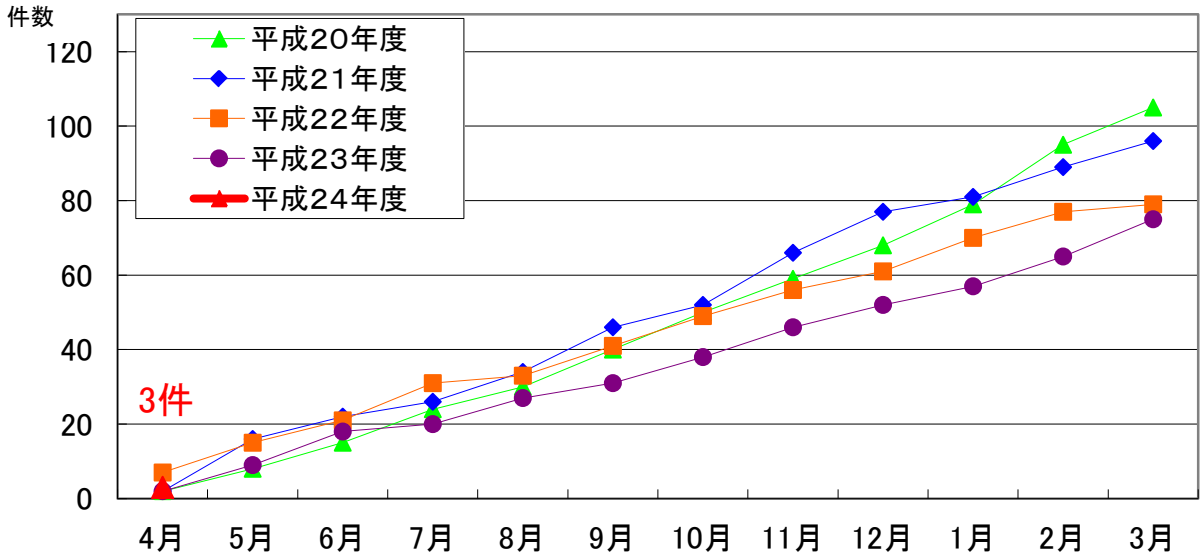
【工事事故（速報）発生状況】

（H24.4.30現在）

	4月発生件数	累計件数	死亡者数	負傷者数
平成24年度（今年度）	**3件**	**3件**	**0人**	**1人**
平成23年度（昨年度）	2件	73件	1人	19人

注1）上記は、関東地方整備局管内の工事事故発生件数（速報）を示す。
注2）「4月発生件数」は、4/1～4/30の間に起きた件数。（月毎分）
注3）「累計件数」は、4/1～3/31の間に起きた件数。（累計分）
注4）「死亡者数」・「負傷者数」は、4/1～3/31の累計人数を示す。
注5）平成24年度の数字は「速報」であり、審査の結果、「不問」になる可能性がある。

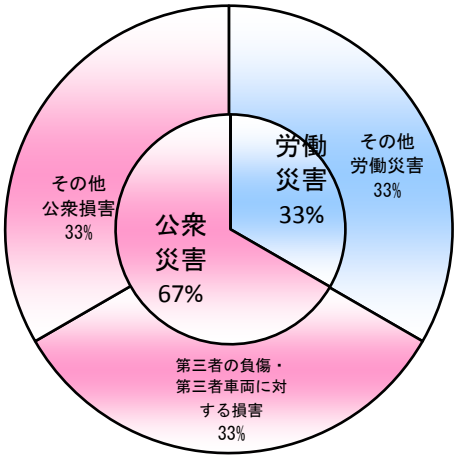
●工事事故件数



		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成20年度	累計	2件	8件	15件	24件	30件	40件	50件	59件	68件	79件	95件	105件
	（月毎）	（2件）	（6件）	（7件）	（9件）	（6件）	（10件）	（10件）	（9件）	（9件）	（11件）	（16件）	（10件）
平成21年度	累計	2件	16件	22件	26件	34件	46件	52件	66件	77件	81件	89件	96件
	（月毎）	（2件）	（14件）	（6件）	（4件）	（8件）	（12件）	（6件）	（14件）	（11件）	（4件）	（8件）	（7件）
平成22年度	累計	7件	15件	21件	31件	33件	41件	49件	56件	61件	70件	77件	79件
	（月毎）	（7件）	（8件）	（6件）	（10件）	（2件）	（8件）	（8件）	（7件）	（5件）	（9件）	（7件）	（2件）
平成23年度	累計	2件	9件	18件	20件	27件	31件	38件	46件	52件	57件	65件	75件
	（月毎）	（2件）	（7件）	（9件）	（2件）	（7件）	（4件）	（7件）	（8件）	（6件）	（5件）	（8件）	（10件）
平成24年度	累計	3件											
	（月毎）	（3件）											

※なお、平成21年度工事事故より、国の管理物損傷事故件数を措置の対象としている。

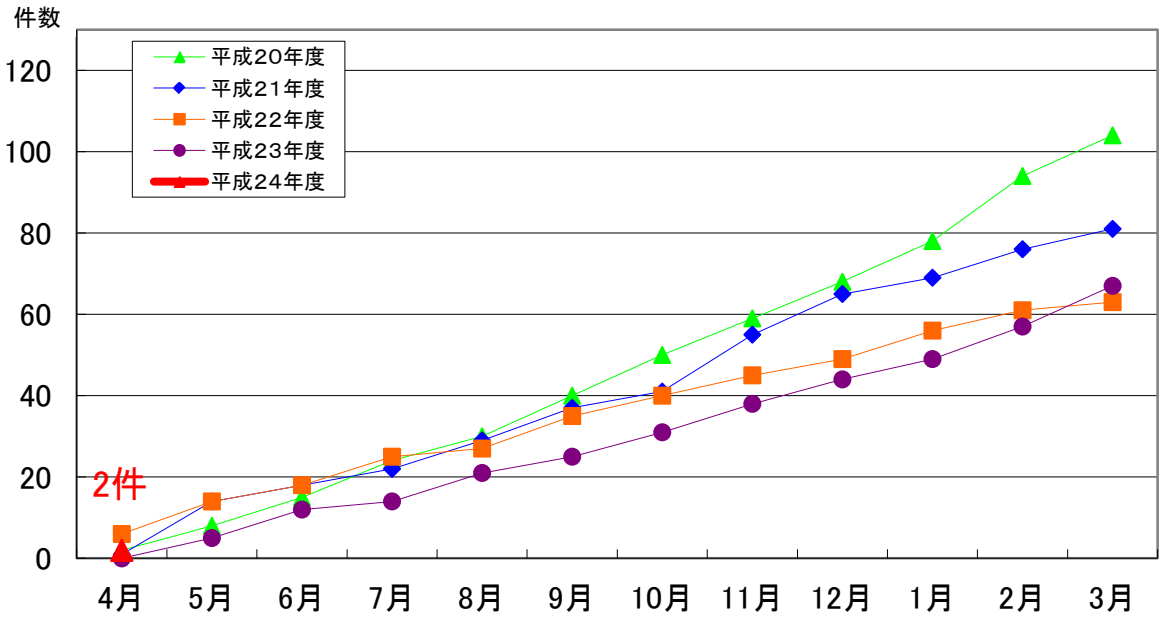
●平成24年度　工事事故発生状況（発生形態別）



	発生形態	H22	H23	H24	過去3年間計
労働災害	建設機械の稼働に関連した人身事故	6	4	0	10
	部材の加工作業等により自らを負傷	4	2	0	6
	運搬中の資機材等の落下や下敷きで負傷	2	5	0	7
	墜落	8	3	0	11
	準備作業、測量調査業務等における人身事故	0	0	0	0
	その他労働災害	5	1	1	7
小計		25	15	1	41
公衆損害	架空線・標識等損傷	14	9	0	23
	地下埋設物件損傷	6	8	0	14
	第三者の負傷・第三者車両に対する損害	13	22	1	36
	その他公衆損害	19	18	1	38
小計		52	57	2	111
	その他事故	2	3	0	5
計		79	75	3	157

□ ‥H24年度重点的安全対策項目

●「その他公衆損害」事故のうち、車両管理業務等の車両の自損事故を除く事故件数



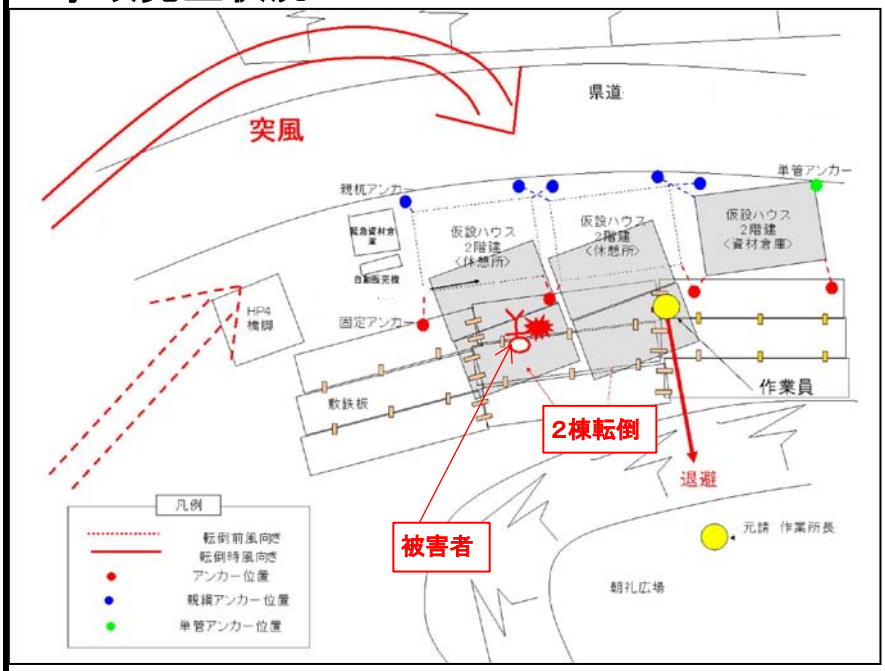
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成20年度	累計	2件	8件	15件	24件	30件	40件	50件	59件	68件	78件	94件	104件
	（月毎）	（2件）	（6件）	（7件）	（9件）	（6件）	（10件）	（10件）	（9件）	（9件）	（10件）	（16件）	（10件）
平成21年度	累計	1件	14件	18件	22件	29件	37件	41件	55件	65件	69件	76件	81件
	（月毎）	（1件）	（13件）	（4件）	（4件）	（7件）	（8件）	（4件）	（14件）	（10件）	（4件）	（7件）	（5件）
平成22年度	累計	6件	14件	18件	25件	27件	35件	40件	45件	49件	56件	61件	63件
	（月毎）	（6件）	（8件）	（4件）	（7件）	（2件）	（8件）	（5件）	（5件）	（4件）	（7件）	（5件）	（2件）
平成23年度	累計	0件	5件	12件	14件	21件	25件	31件	38件	44件	49件	57件	67件
	（月毎）	（0件）	（5件）	（7件）	（2件）	（7件）	（4件）	（6件）	（7件）	（6件）	（5件）	（8件）	（10件）
平成24年度	累計	2件											
	（月毎）	（2件）											

■問合せ先：企画部　技術調査課　田島・越智　（TEL　048－600－1332）

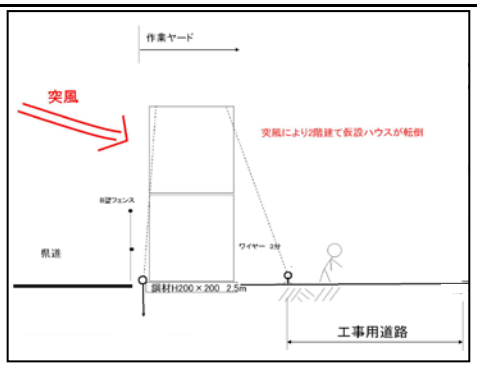
発生日時	平成　24 年　4 月　3 日（火）　16 時　35 分				天候	雨
工事情報	道路系事務所　一般土木工事					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	男	62	鍛冶工	多発外傷（骨盤骨折、鼻腔骨折、肋骨ひび、足骨折）		
事故概要	風養生対策作業中、強風により仮設ハウスが転倒し、作業員が下敷きとなり、負傷したもの。					

工事関係者事故－その他

事故発生状況



平面図



断面図

・当日5:10より本地区の大雨・雷・強風・洪水注意報が発令されていた。

・本工事（深礎工）は14:00に吹流しで10分間の平均風速が10m/秒を超えたため、作業を中止。

・仮設ハウス設置現場では、10分間の平均風速が10m/秒を超えていなかったため、被害者は、現場点検、強風養生（敷鉄板溶接：仮設ハウスが県道側へ転倒しないよう、敷鉄板を連結溶接しカウンターウエイトとして機能させるための溶接作業）作業を行っていた。

・作業所長が突風による仮設ハウスの異常に気づき退避命令を出したが、仮設ハウスが転倒し、被災者が下敷きとなり被災したもの。

【事故発生原因】

・強風・暴風が予想される中での作業において安全管理が十分ではなかったため。　など

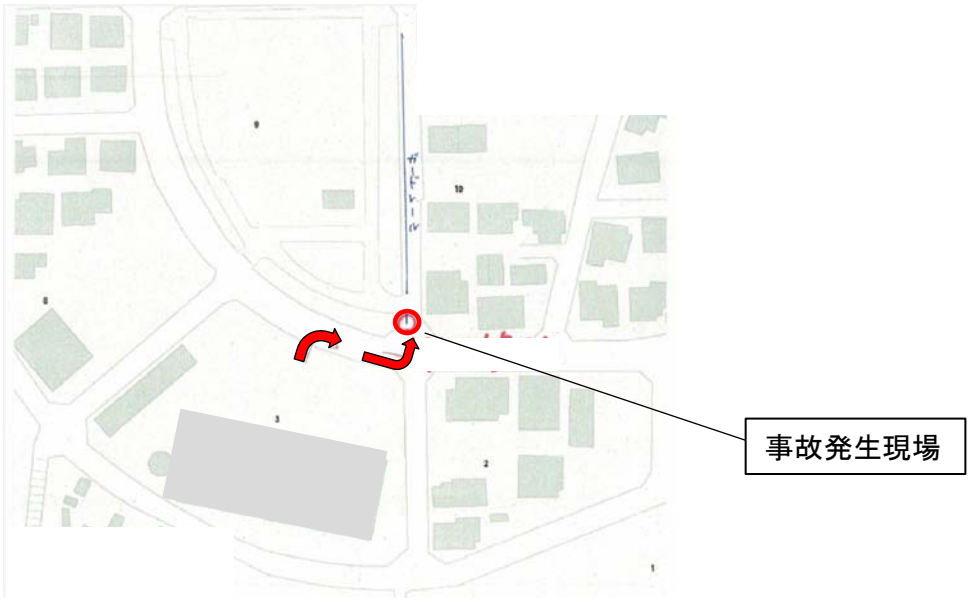
【事故防止のポイント】

・強風・暴風が予想されるときの安全管理を考慮した作業手順の作成と作業員への周知・徹底。　など

別紙－２

発生日時	平成　24 年　4 月　12 日（木）　11 時　20 分				天候	晴
工事情報	道路系事務所　役務					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	－	－	－	市道ガードレール損傷、官用車損傷		
事故概要	左折する際に左前方のガードレールに追突し、市道ガードレール及び車両を損傷させたもの。 公衆損害事故－その他					

事故発生状況



ガードレール損傷状況

車両損傷状況

【事故発生原因】

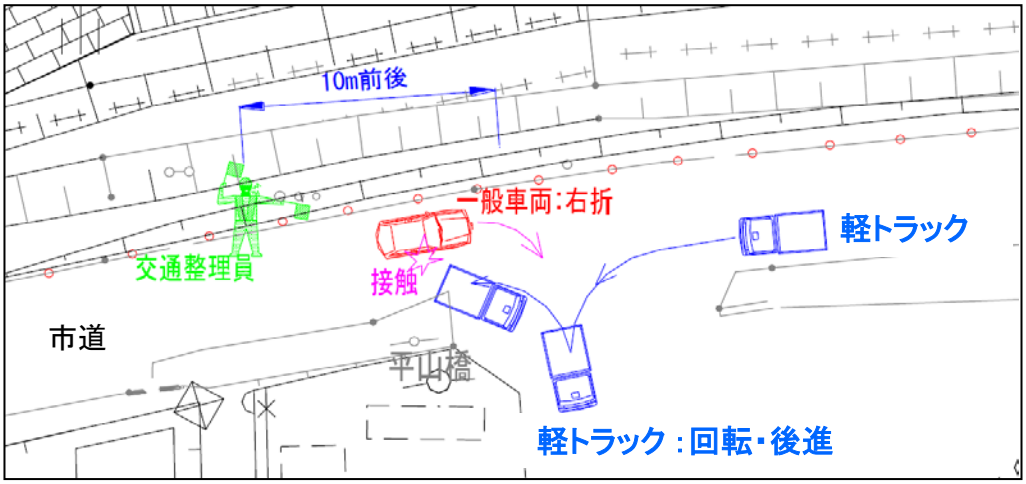
・運転手の左前方確認不足によるもの。

【事故防止のポイント】

・車両安全運転教育の徹底。
・周辺構造物への注意、確認を行う。
など

発生日時	平成　24 年　4 月　19 日（木）　14 時　55 分				天候	曇
工事情報	河川系事務所　一般土木工事					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	－	－	－	第三者車両損傷		
事故概要	現場出入り口付近で第三者の車両と接触事故を起こしたもの。 公衆損害事故－第三者の損傷・第三者車両に対する損害					

事故発生状況



現場状況

第三者車両損傷状況

・現場入口が市道と鋭角になっているため、搬入車両（軽トラック）の直接進入が難しいことから、交通誘導員の誘導のもと、回転、後退進入を行おうとしたころ、一般車両と接触事故を起こしたもの。

・交通整理員は一般車両が直進すると思い込み、軽トラックの誘導に支障がないと判断したが、一般車両は右折するための停車していたところに軽トラックが接触したもの。

【事故発生原因】
- **交通誘導員の誘導不足によるもの。**
- **運転手の後方確認不足によるもの。**

など

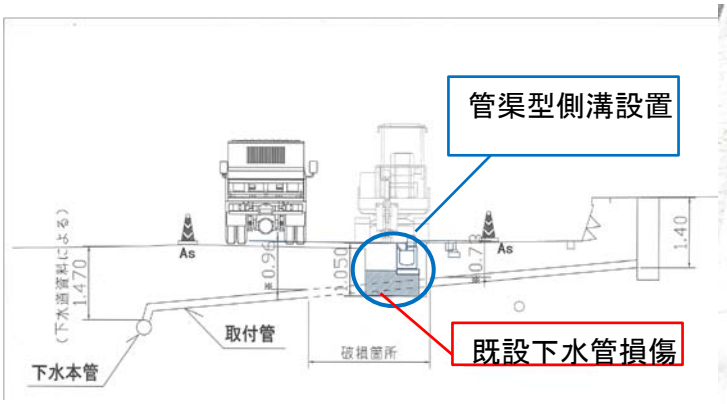
【事故防止のポイント】
- **適切な誘導を実施するように交通誘導員に周知・徹底をする。**
- **車両安全運転教育の徹底。**

など

※平成23年度3月の速報で紹介できなかった事故事例の紹介。　　参考別紙－1

発生日時	平成　24 年　3 月　30 日　（ 金 ）				天候	晴
工事情報	道路系事務所　アスファルト舗装工事					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	－	－	－	下水管損傷		
事故概要	管渠型側溝設置のためバックホウで掘削作業中、既設の下水管を損傷させたもの。 公衆損害事故－地下埋設部物件損傷					

事故発生状況



下水管損傷状況

・沿道工場の宅内枡で下水があふれることから市下水道局で調査をおこなった結果、下水管の損傷を確認。

・下水管の破損箇所や状況から判断して、本工事以外破損をおこなった原因者として考えられない状況。

・本工事においては、下水管について、図面を入手していたが、事前の管理者立会、試掘等を行っておらず、十分な確認が行えていなかった。また、施工時には、下水管の存在に気づかなかったため、下請への周知徹底が行えていなかった。 また、破損後も気づかず、 施工を行っていたと考えられる。

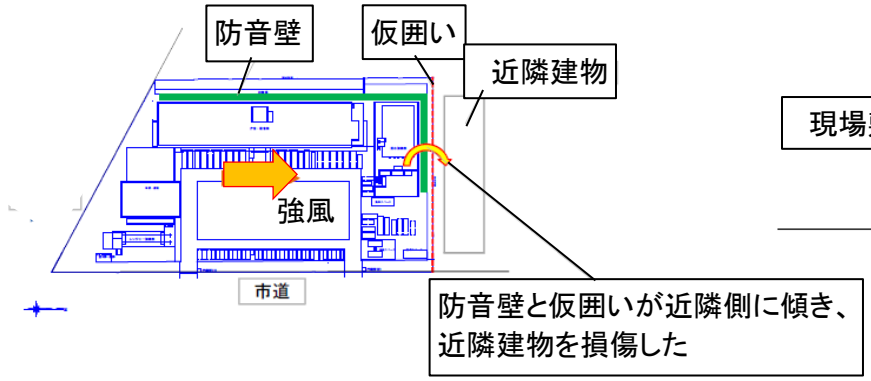
【事故発生原因】
・地下埋設物について事前確認不足であるため　　など

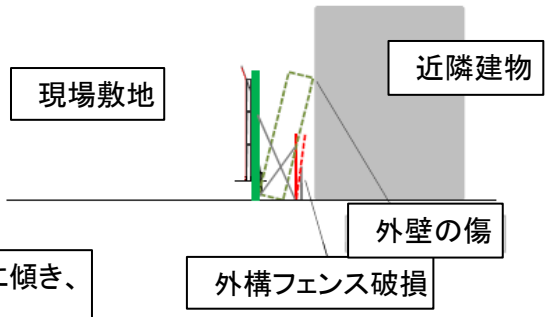
【事故防止のポイント】
・事前に管理者の立会、試掘等により施工箇所の地下埋設物を確認する　　など

※平成23年度3月の速報で紹介できなかった事故事例の紹介。　　参考別紙－2

発生日時	平成　24 年　3 月　31 日（土）　10 時　20 分				天候	雨
工事情報	営繕系事務所　建築工事					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	－	－	－	近隣建物及びフェンス損傷		
事故概要	強風により工事敷地に設置していた防音壁が傾き、近隣建物を損傷させたもの。 公衆損害事故－その他					

事故発生状況





防音壁傾き状況

近隣建物損傷状況

・強風により、現場敷地北側に設置していた防音壁（仮囲いと連結）が近隣側に傾き、近隣建物及びフェンスを損傷させた。

・防音壁について、敷地上の制約により施工計画書の構造から変更していたが、控え強度の補強を行っていなかった。

【事故発生原因】

・強風が予報されていたが、対策を行っていなかった。

・防音壁について敷地上の制約により控え補強が十分でない箇所があった。

など

【事故防止のポイント】

・強風が予報された場合には、強風対策を行う。（シートの撤去等）

・防音壁について控え補強が十分とれない箇所では、補強を実施する。

など